令和８年１月３０日
千葉県報第 14113 号別冊

千 葉 県 の 公 営 企 業

第 111 回

令 和 7 年 度 下 期

目　　次

１．上水道事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況 …… 3

１．事業の概況 …… 3

２．経理の状況 …… 4

Ⅱ　令和６年度の決算状況 …… 8

１．事業の概況 …… 8

２．経理の状況 …… 9

２．工業用水道事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況 …… 15

１．事業の概況 …… 15

２．経理の状況 …… 16

Ⅱ　令和６年度の決算状況 …… 20

１．事業の概況 …… 20

２．経理の状況 …… 21

３．造成土地管理事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況 …… 27

１．事業の概況 …… 27

２．経理の状況 …… 29

Ⅱ　令和６年度の決算状況 …… 33

１．事業の概況 …… 33

２．経理の状況 …… 35

４．病院事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況 …… 41

１．事業の概況 …… 41

２．経理の状況 …… 45

Ⅱ　令和６年度の決算状況 …… 49

１．事業の概況 …… 49

２．経理の状況 …… 54

５．流域下水道事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況 …… 61

１．事業の概況 …… 61

２．経理の状況 …… 62

Ⅱ　令和６年度の決算状況 …… 66

１．事業の概況 …… 66

２．経理の状況 …… 67

１．上 水 道 事 業 会 計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況

１．事業の概況

千葉県上水道事業は，昭和 11 年に給水を開始して以来，お客様に安全でおいしい水を安定して供給することを最大の使命として，事業運営に努めてきたところです。

本期は，『千葉県営水道事業中期経営計画』（計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度）に基づき，基本理念「いつでも，安全でおいしい水を安定して供給し，お客様が安心し，信頼を寄せる水道」の実現に向けて，事業の推進を図りました。

（１）　工事の状況

本期の主な工事としては，ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備事業において場内整備工事，その他の浄給水場における設備の更新工事として，千葉分場外自家発電設備更新工事等，配水管整備事業として，市原市玉前西３丁目３番地先配水管整備工事等を実施しました。

（２）　給水及び業務の状況

本期における給水栓数は 152 万 7,908 栓，給水量は 1 億 5,820 万 4,708 立方メートル，有収水量は 1 億 5,160 万 2,926 立方メートルであり，前年同期と比べ給水栓数は 1.4 パーセント，給水量は 0.6 パーセント，有収水量は 0.1 パーセントそれぞれ増加しました。

給 水 及 び 業 務 の 概 要 に つ い て

区　　分		給 水 栓 数	給　水　量	有 収 水 量
令 和 7 年 度 上 期		1,527,908 栓	158,204,708 m^3	151,602,926 m^3
令 和 6 年 度 上 期		1,507,274	157,305,048	151,384,812
比較	差　引　き	20,634	899,660	218,114
比較	増　減　率	1.4%	0.6%	0.1% 有収率 7 年度上期 95.8% 6 年度上期 96.2%

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
水道事業収益	84,873,373		84,873,373	41,167,634	48.5 %
営　業　収　益	71,188,913		71,188,913	34,213,583	48.1
営業外収益	13,684,460		13,684,460	6,953,282	50.8
特　別　利　益				769	

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
水道事業費用	81,919,237	128,370	82,047,607	42,298,521	51.6 %
営　業　費　用	79,490,180	128,370	79,618,550	41,291,611	51.9
営業外費用	2,315,725		2,315,725	1,000,286	43.2
特　別　損　失	13,332		13,332	6,624	49.7
予　　備　　費	100,000		100,000		

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的収入	42,876,270	16,040,646	58,916,916	785,705	1.3 %
企　業　債	36,000,000	15,900,000	51,900,000		
工事負担金	4,133,725	140,646	4,274,371	278,134	6.5
開発負担金	1,087,712		1,087,712	507,571	46.7
受託事業収入	449,169		449,169		
その他資本収入	1,205,664		1,205,664		

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的支出	73,262,056	20,749,835	94,011,891	62,620,973	66.6 %
建設改良費	60,601,270	20,749,835	81,351,105	56,298,171	69.2
拡張工事費	200,120		200,120	91,580	45.8
企業債償還金	12,203,898		12,203,898	6,103,248	50.0
年賦償還金	256,768		256,768	127,974	49.8

（2） 損益計算書

（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	31,539,897	営業収益	31,206,249
原水及び浄水費	8,547,749	給水収益	29,665,318
配水費	2,213,085	分水収益	362,019
給水費	1,793,059	受託工事収益	96,039
受託工事費	74,646	その他の営業収益	1,082,873
業務費	2,360,381	営業外収益	6,661,604
総係費	743,595	給水申込納付金	1,894,570
減価償却費	15,435,766	受取利息及び配当金	30,482
資産減耗費	369,558	長期前受金戻入	3,642,873
その他の営業費用	2,058	雑収益	1,093,112
営業外費用	1,000,285	負担金	567
支払利息及び企業債取扱諸費	1,000,209	特別利益	769
雑支出	76	過年度損益修正益	167
特別損失	6,022	その他特別利益	602
過年度損益修正損	6,022		
当期純利益	5,322,418		
合計	37,868,622	合計	37,868,622

（３） 貸借対照表

（令和７年９月30日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	786,585,653	固定負債	160,872,346
有形固定資産	656,566,632	企業債	153,923,819
土地	42,678,384	年賦未払金	687,192
償却資産	1,251,477,269	リース債務	805,045
減価償却累計額	△675,323,010	引当金	4,837,888
建設仮勘定	37,733,989	その他固定負債	618,402
無形固定資産	127,590,445	流動負債	23,542,532
投資その他の資産	2,428,576	企業債	6,100,649
流動資産	46,621,529	リース債務	141,007
現金預金	25,559,115	未払金	8,799,170
未収金	7,835,180	年賦未払金	117,631
未収金貸倒引当金	△228,331	前受金	1,180,324
貯蔵品	247,567	その他流動負債	7,203,751
前払金	10,959,082	繰延収益	198,112,356
その他流動資産	2,248,916	長期前受金	399,864,541
		長期前受金収益化累計額	△201,752,185
		負債計	382,527,234
		資本金	398,319,993
		剰余金	52,359,955
		資本剰余金	40,308,125
		利益剰余金	12,051,830
		資本計	450,679,948
合計	833,207,182	合計	833,207,182

Ⅱ　令和６年度の決算状況

１．事業の概況

千葉県上水道事業は，昭和 11 年に給水を開始して以来，お客様に安全でおいしい水を安定して供給することを最大の使命として，事業運営に努めてきたところです。

令和６年度は，『千葉県営水道事業中期経営計画』（計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度）に基づき，基本理念「いつでも，安全でおいしい水を安定して供給し，お客様が安心し，信頼を寄せる水道」の実現に向けて，事業の推進を図りました。

（１）　工事の状況

令和６年度は，柏井浄水場東側施設水処理改善事業における二次ろ過棟建築工事，その他の浄給水場における設備の更新工事として，北総浄水場薬品注入設備更新工事等，配水管整備事業として，一拡栗山～船高線（その２）送・配水管布設替工事等を実施しました。

（２）　給水及び業務の状況

令和６年度末における給水人口は 309 万 3,756 人，給水栓数は 151 万 5,925 栓であり，前年度末と比較すると，人口において 0.4 パーセント，栓数において 1.1 パーセントそれぞれ増加しました。

年間給水量は 3 億 1,571 万 9,796 立方メートル，年間有収水量は 3 億 362 万 9,944 立方メートルとなり，前年度末と比較すると，給水量において 0.5 パーセント，有収水量において 0.2 パーセントそれぞれ増加しました。また，一日平均給水量は 86 万 4,986 立方メートル，一日最大給水量は 8 月 3 日の 99 万 1,586 立方メートルでした。

給 水 及 び 業 務 の 概 要 に つ い て

区　　分		給水人口	給水栓数	年間給水量	年間有収水量
令和６年度末		3,093,756 人	1,515,925 栓	315,719,796 m^3	303,629,944 m^3
令和５年度末		3,082,737	1,500,128	314,200,433	303,126,275
比較	差引き	11,019	15,797	1,519,363	503,669
	増減率	0.4%	1.1%	0.5%	0.2% 有収率 ６年度 96.2% ５年度 96.5%

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　入

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率
	現年度分	繰越分	計		
水道事業収益	84,081,645		84,081,645	85,183,423	101.3 %
営業収益	70,312,607		70,312,607	70,206,638	99.8
営業外収益	13,727,550		13,727,550	14,919,425	108.7
特別利益	41,488		41,488	57,360	138.3

支　出

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率
	現年度分	繰越分	計		
水道事業費用	80,371,032	87,615	80,458,647	75,963,383	94.4 %
営業費用	78,103,072		78,103,072	74,012,947	94.8
営業外費用	2,144,490	87,615	2,232,105	1,930,596	86.5
特別損失	23,470		23,470	19,840	84.5
予備費	100,000		100,000		

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的収入	35,473,216	5,414,226	40,887,442	24,055,828	58.8 %
企業債	31,900,000	5,000,000	36,900,000	21,000,000	56.9
国庫補助金	296,819		296,819	296,819	100
工事負担金	1,513,984	139,417	1,653,401	1,019,355	61.7
開発負担金	1,092,291		1,092,291	1,098,082	100.5
受託事業収入	481,121		481,121	185,410	38.5
その他資本収入	189,001	274,809	463,810	456,162	98.4

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的支出	69,126,278	20,966,166	90,092,444	64,289,344	71.4 %
建設改良費	56,791,816	20,966,166	77,757,982	51,962,183	66.8
拡張工事費	88,168		88,168	80,870	91.7
企業債償還金	11,990,144		11,990,144	11,990,143	100.0
年賦償還金	253,514		253,514	253,513	100.0
その他資本支出	2,636		2,636	2,635	100.0

（2）損益計算書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	70,803,221	営業収益	64,025,830
原水及び浄水費	19,805,156	給水収益	59,284,568
配水費	6,456,355	分水収益	702,671
給水費	5,081,589	受託工事収益	386,496
受託工事費	386,496	その他の営業収益	3,652,095
業務費	4,754,875	営業外収益	13,545,711
総係費	2,420,791	給水申込納付金	4,002,430
減価償却費	29,891,907	受取利息及び配当金	26,576
資産減耗費	2,000,790	他会計補助金	52,542
その他の営業費用	5,262	負担金	5,974
営業外費用	1,975,740	長期前受金戻入	7,619,952
支払利息及び企業債取扱諸費	1,816,116	雑収益	1,838,237
雑支出	159,624	特別利益	56,027
特別損失	19,195	過年度損益修正益	54,482
過年度損益修正損	19,195	その他特別利益	1,545
当期純利益	4,829,412		
合計	77,627,568	合計	77,627,568

（3） 貸借対照表

（令和7年3月31日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	791,450,385	固定負債	160,805,941
有形固定資産	659,784,650	企業債	153,923,819
土地	42,678,383	年賦未払金	687,192
償却資産	1,251,952,236	リース債務	731,747
減価償却累計額	△662,321,664	引当金	4,844,781
建設仮勘定	27,475,695	その他固定負債	618,402
無形固定資産	129,237,158	流動負債	42,134,047
投資その他の資産	2,428,577	企業債	12,203,897
流動資産	57,208,152	リース債務	408,034
現金預金	43,146,548	未払金	24,129,240
未収金	9,222,324	年賦未払金	245,605
未収金貸倒引当金	△231,367	前受金	463,164
貯蔵品	247,567	引当金	604,006
前払金	4,819,630	その他流動負債	4,080,101
その他流動資産	3,450	繰延収益	200,361,018
		長期前受金	398,477,490
		長期前受金収益化累計額	△198,116,472
		負債計	403,301,006
		資本金	398,319,993
		剰余金	47,037,538
		資本剰余金	40,308,126
		利益剰余金	6,729,412
		資本計	445,357,531
合計	848,658,537	合計	848,658,537

２．工業用水道事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況

１．事業の概況

本期における工業用水道事業は，給水事業及び水資源開発事業を，前年度に引き続き実施しました。

これらの概況は次のとおりです。

給水事業

本期における給水事業は，東葛・葛南地区工業用水道事業ほか６事業を実施しました。

なお，各地区の業務状況は,次のとおりです。

（令和７年４月１日から令和７年９月 30 日まで）

区　　分	給水企業数	本期給水量	一日平均
	社	m^3	m^3
東葛・葛南地区	104	10,789,538	58,959
千葉地区	26	14,141,078	77,274
五井市原地区	19	13,312,375	72,745
五井姉崎地区	42	52,559,425	287,210
房総臨海地区	71	16,772,681	91,654
木更津南部地区	17	33,115,880	180,961
北総地区	5	17,185	94
合　　計	284	140,708,162	768,897

2．経理の状況

（1） 予算の執行状況（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　入

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率（%）
	現年度分	繰越分	計		
東葛・葛南地区	2,107,658		2,107,658	1,079,697	51.2
千葉地区	1,524,426		1,524,426	764,285	50.1
五井市原地区	990,389		990,389	512,832	51.8
五井姉崎地区	3,429,370		3,429,370	1,717,067	50.1
房総臨海地区	3,894,806		3,894,806	1,957,148	50.3
木更津南部地区	1,945,663		1,945,663	979,239	50.3
北総地区	10,588		10,588	5,303	50.1
工業用水道事業関連収益	47,933		47,933	96,861	202.1
合計	13,950,833		13,950,833	7,112,432	51.0

支　出

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率（%）
	現年度分	繰越分	計		
東葛・葛南地区	1,940,751		1,940,751	1,010,223	52.1
千葉地区	754,305		754,305	381,086	50.5
五井市原地区	386,142		386,142	189,673	49.1
五井姉崎地区	1,136,421		1,136,421	565,087	49.7
房総臨海地区	2,833,282		2,833,282	1,386,604	48.9
木更津南部地区	1,669,374		1,669,374	883,636	52.9
北総地区	30,783		30,783	10,356	33.6
工業用水道事業関連費用	4,793,150		4,793,150	2,691,740	56.2
合計	13,544,208		13,544,208	7,118,405	52.6

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現年度分	繰　越　分	計		
東葛・葛南地区	1,101,400	43,900	1,145,300		
千　葉　地　区	212,600		212,600		
五井市原地区	407,000		407,000		
五井姉崎地区	1,067,800	455,000	1,522,800	127,100	8.3
房総臨海地区					
木更津南部地区	278,544		278,544	25,229	9.1
北　総　地　区					
工業用水道関連事業	179,741		179,741		
合　　計	3,247,085	498,900	3,745,985	152,329	4.1

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現年度分	繰　越　分	計		
東葛・葛南地区	4,112,038	402,763	4,514,801	3,343,869	74.1
千　葉　地　区	806,640		806,640	389,566	48.3
五井市原地区	1,229,460	51,799	1,281,259	537,950	42.0
五井姉崎地区	3,185,547	659,934	3,845,481	2,822,554	73.4
房総臨海地区	2,040,301	414	2,040,715	940,078	46.1
木更津南部地区	2,621,001	151,499	2,772,500	2,056,855	74.2
北　総　地　区	10,000		10,000	6,369	63.7
工業用水道関連事業	837,400	23,100	860,500	821,295	95.4
合　　計	14,842,387	1,289,509	16,131,896	10,918,536	67.7

（2） 損益計算書

（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	4,860,777	営業収益	5,570,558
東葛・葛南地区	731,094	東葛・葛南地区	819,471
千葉地区	334,688	千葉地区	665,392
五井市原地区	160,116	五井市原地区	417,044
五井姉崎地区	525,763	五井姉崎地区	1,467,109
房総臨海地区	1,371,528	房総臨海地区	1,391,537
木更津南部地区	486,884	木更津南部地区	807,246
北総地区	7,394	北総地区	2,759
工業用水道事業関連	1,243,310	営業外収益	964,592
営業外費用	101,636	東葛・葛南地区	178,236
東葛・葛南地区	1,052	千葉地区	32,354
千葉地区	45,865	五井市原地区	51,913
五井市原地区	10,626	五井姉崎地区	103,245
五井姉崎地区	36,762	房総臨海地区	413,114
木更津南部地区	7,331	木更津南部地区	86,675
		北総地区	2,268
当期純利益	1,572,777	工業用水道事業関連	96,787
		特別利益	40
		房総臨海地区	40
合計	6,535,190	合計	6,535,190

（３） 貸借対照表

（令和７年９月30日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	154,630,197	固定負債	32,537,812
有形固定資産	86,264,395	企業債	10,699,859
土地	7,091,829	他会計借入金	20,195,338
償却資産	186,186,452	年賦未払金	695,440
減価償却累計額	△127,675,125	引当金	830,884
建設仮勘定	20,661,239	リース債務	4,284
無形固定資産	68,338,598	その他固定負債	112,007
投資その他の資産	27,204	流動負債	2,806,846
流動資産	41,516,423	企業債	832,347
現金及び預金	38,181,741	他会計借入金	1,000,000
未収金	1,160,241	年賦未払金	54,807
貯蔵品	66,220	未払金	329,667
その他流動資産	2,108,221	リース債務	1,149
		その他流動負債	588,876
		繰延収益	33,731,482
		長期前受金	89,598,420
		長期前受金収益化累計額	△55,866,938
		負債計	69,076,140
		資本金	111,164,416
		剰余金	15,906,064
		資本剰余金	10,139,381
		利益剰余金	5,766,683
		資本計	127,070,480
合計	196,146,620	合計	196,146,620

Ⅱ　令和６年度の決算状況

１．事業の概況

令和６年度における工業用水道事業は，給水事業及び水資源開発事業を，前年度に引き続き実施しました。

給水事業

令和６年度における給水事業は，東葛・葛南地区工業用水道事業ほか６事業を実施しました。

なお，各地区の業務状況は次のとおりです。

（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

区　　分	給水企業数	本期給水量	一日平均
東葛・葛南地区	104 社	21,114,309 ㎥	57,809 ㎥
千葉地区	26	29,545,688	80,862
五井市原地区	19	25,681,163	70,358
五井姉崎地区	41	103,142,100	282,564
房総臨海地区	72	33,353,213	91,391
木更津南部地区	17	63,490,959	172,246
北総地区	5	30,708	84
合　　計	284	276,358,140	755,314

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現年度分	繰越分	計		
東葛・葛南地区	2,131,524		2,131,524	2,146,416	100.7
千葉地区	1,528,107		1,528,107	1,528,113	100.0
五井市原地区	994,382		994,382	994,370	100.0
五井姉崎地区	3,441,612		3,441,612	3,441,224	100.0
房総臨海地区	3,902,271		3,902,271	3,900,173	99.9
木更津南部地区	1,953,105		1,953,105	1,923,576	98.5
北総地区	10,611		10,611	10,613	100.0
工業用水道事業関連収益	39,666		39,666	52,784	133.1
合　　計	14,001,278		14,001,278	13,997,269	100.0

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現年度分	繰越分	計		
東葛・葛南地区	1,923,614		1,923,614	1,804,247	93.8
千葉地区	762,581		762,581	745,386	97.7
五井市原地区	376,437		376,437	370,016	98.3
五井姉崎地区	1,113,204		1,113,204	1,105,847	99.3
房総臨海地区	2,817,685		2,817,685	2,787,684	98.9
木更津南部地区	1,567,868		1,567,868	1,393,252	88.9
北総地区	27,834		27,834	24,520	88.1
工業用水道事業関連費用	4,609,542		4,609,542	3,924,060	85.1
合　　計	13,198,765		13,198,765	12,155,012	92.1

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現年度分	繰　越　分	計		
東葛・葛南地区	525,800	249,130	774,930	597,000	77.0
千　葉　地　区	28,100	11,700	39,800	37,500	94.2
五井市原地区	65,300		65,300		
五井姉崎地区	1,638,300	75,300	1,713,600	788,900	46.0
房総臨海地区					
木更津南部地区	102,440		102,440	64,384	62.9
北　総　地　区					
工業用水道関連事業	3,044,295	68,702	3,112,997	3,112,677	100.0
合　　計	5,404,235	404,832	5,809,067	4,600,461	79.2

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現年度分	繰　越　分	計		
東葛・葛南地区	1,966,259	914,853	2,881,112	2,290,667	79.5
千　葉　地　区	690,557		690,557	683,102	98.9
五井市原地区	482,176	2,255	484,431	362,159	74.8
五井姉崎地区	4,101,304	343,401	4,444,705	3,386,554	76.2
房総臨海地区	1,219,717		1,219,717	1,213,252	99.5
木更津南部地区	1,565,964	98,043	1,664,007	1,444,467	86.8
北　総　地　区					
工業用水道関連事業	309,067	172,682	481,749	455,119	94.5
合　　計	10,335,044	1,531,234	11,866,278	9,835,320	82.9

（2） 損益計算書

（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	11,387,044	営業収益	11,104,346
東葛・葛南地区	1,735,464	東葛・葛南地区	1,628,115
千葉地区	641,695	千葉地区	1,327,140
五井市原地区	344,278	五井市原地区	831,754
五井姉崎地区	1,029,867	五井姉崎地区	2,926,115
房総臨海地区	2,777,386	房総臨海地区	2,775,535
木更津南部地区	1,292,806	木更津南部地区	1,610,185
北総地区	23,618	北総地区	5,502
工業用水道事業関連	3,541,930	営業外収益	1,746,963
営業外費用	221,183	東葛・葛南地区	355,409
東葛・葛南地区	3,106	千葉地区	68,246
千葉地区	99,592	五井市原地区	77,252
五井市原地区	24,425	五井姉崎地区	222,457
五井姉崎地区	75,236	房総臨海地区	819,369
房総臨海地区	444	木更津南部地区	147,032
木更津南部地区	18,380	北総地区	4,560
特別損失	801	工業用水道事業関連	52,638
東葛・葛南地区	57	特別利益	72
五井姉崎地区	744	千葉地区	13
		五井市原地区	8
当期純利益	1,242,353	五井姉崎地区	25
		房総臨海地区	17
		木更津南部地区	9
合計	12,851,381	合計	12,851,381

（３） 貸借対照表

（令和７年３月31日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	156,744,129	固定負債	32,539,161
有形固定資産	87,082,677	企業債	10,699,859
土地	7,091,829	他会計借入金	20,195,338
償却資産	186,181,625	年賦未払金	695,440
減価償却累計額	△126,065,549	引当金	832,960
建設仮勘定	19,874,772	リース債務	3,557
無形固定資産	69,634,248	その他固定負債	112,007
投資その他の資産	27,204	流動負債	5,751,610
流動資産	41,255,942	企業債	1,680,468
現金及び預金	39,188,068	他会計借入金	1,000,000
未収金	1,587,234	年賦未払金	109,148
貯蔵品	66,419	未払金	2,862,427
その他流動資産	414,221	引当金	88,373
		リース債務	2,116
		その他流動負債	9,078
		繰延収益	34,211,597
		長期前受金	89,444,262
		長期前受金収益化累計額	△55,232,665
		負債計	72,502,368
		資本金	111,164,416
		剰余金	14,333,287
		資本剰余金	10,139,381
		利益剰余金	4,193,906
		資本計	125,497,703
合計	198,000,071	合計	198,000,071

３．造成土地管理事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況

１．事業の概況

造成土地管理事業では，土地及び施設の譲渡，貸付け及び管理等を行っています。なお，本期末における土地処分状況は，次のとおりです。

土 地 処 分 状 況

（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

（単位：千㎡）

区分 / 事業名	可処分面積	本期の処分面積	本期末までの処分面積	処分率（%）
１．臨海地域土地造成整備事業	74,916		74,642	99.6
京葉港	5,808		5,726	98.6
塩浜	55		49	89.1
富津	4,499		4,313	95.9
土地処分完了地区	64,554		64,554	100
２．新市街地造成整備事業	24,113	2	22,775	94.5
千葉北部地区	12,280	2	11,934	97.2
幕張A	2,310		1,780	77.1
幕張C	1,280		940	73.4
成田	2,936		2,930	99.8
検見川	2,608		2,537	97.3
東葛飾北部流山	55		36	65.5
東葛飾北部柏	102		76	74.5
土地処分完了地区	2,542		2,542	100
３．内陸工業用地造成整備事業	4,504		4,489	99.7
ひかり	204		195	95.6
空港南部	240		234	97.5
土地処分完了地区	4,060		4,060	100
４．ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ用地造成整備事業	1,264		1,264	100
土地処分完了地区	1,264		1,264	100
５．小規模住宅用地造成整備事業	213		213	100
土地処分完了地区	213		213	100
６．物流用地造成整備事業	180		180	100
土地処分完了地区	180		180	100
合計	105,190	2	103,563	98.5

※中止地区を除く

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　入

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率（%）
	現年度分	繰越分	計		
１．土地分譲事業収益	8,547,015		8,547,015	2,270,052	26.6
営業収益	6,141,527		6,141,527	210,637	3.4
営業外収益	2,405,488		2,405,488	2,059,415	85.6
２．土地貸付事業収益	2,422,221		2,422,221	1,901,692	78.5
営業収益	2,422,221		2,422,221	1,901,687	78.5
営業外収益				5	
合計	10,969,236		10,969,236	4,171,744	38.0

支　出

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率（%）
	現年度分	繰越分	計		
１．土地分譲事業費用	11,231,768		11,231,768	2,089,945	18.6
営業費用	11,105,916		11,105,916	1,980,738	17.8
営業外費用	125,852		125,852	109,207	86.8
２．土地貸付事業費用	561,575		561,575	500,769	89.2
営業費用	561,575		561,575	500,769	89.2
３．予備費	50,000		50,000		
合計	11,843,343		11,843,343	2,590,714	21.9

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資　本　的　収　入	1,668,769		1,668,769	265,000	15.9
貸　付　金　収　入	1,265,000		1,265,000	265,000	20.9
関　連　収　入	403,769		403,769		
合　　計	1,668,769		1,668,769	265,000	15.9

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資　本　的　支　出	6,314,070		6,314,070	2,236,839	35.4
固 定 資 産 取 得 費	148,566		148,566	105,157	70.8
投　　資	4,000,000		4,000,000		
建　設　改　良　費	2,165,504		2,165,504	2,131,682	98.4
合　　計	6,314,070		6,314,070	2,236,839	35.4

（2） 損益計算書

（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	1,583,812	営業収益	2,109,045
土地分譲原価	201,241	土地分譲収益	170,005
一般管理費	703,978	土地貸付収益	1,901,687
減価償却費	61,289	その他営業収益	37,353
資産減耗費	128,621	営業外収益	2,056,536
その他営業費用	488,683	受取利息及び配当金	851,432
営業外費用	109,207	雑収益	1,205,104
雑支出	109,207		
当期純利益	2,472,562		
合計	4,165,581	合計	4,165,581

（３） 貸借対照表

（令和７年９月30日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	176,187,808	固定負債	1,701,737
有形固定資産	103,793,530	繰延割賦売却益	958
土地	100,557,109	リース債務	904
償却資産	5,959,697	引当金	804,950
減価償却累計額	△3,704,118	その他固定負債	894,925
建設仮勘定	980,842	流動負債	2,601,467
無形固定資産	92,541	リース債務	361
投資その他の資産	72,301,737	未払金	137,946
完成資産	45,042,705	その他流動負債	2,463,160
土地分譲事業完成資産	45,042,705	繰延収益	9
流動資産	106,993,281	長期前受金	9
現金及び預金	105,281,139	負債計	4,303,213
未収金	815,857		
その他流動資産	896,285	資本金	221,221,875
		自己資本金	221,221,875
		剰余金	102,698,706
		利益剰余金	102,698,706
		資本計	323,920,581
合計	328,223,794	合計	328,223,794

Ⅱ　令和６年度の決算状況

１．事業の概況

造成土地管理事業では，土地及び施設の譲渡，貸付け及び管理等を行っています。なお，本年度末における土地処分状況は，次のとおりです。

土 地 処 分 状 況

（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

（単位：千㎡）

区分 / 事業名	可処分面積	本期の処分面積	本期末までの処分面積	処分率（%）
１．臨海地域土地造成整備事業	74,916		74,642	99.6
京葉港	5,808		5,726	98.6
塩浜	55		49	89.1
富津	4,499		4,313	95.9
土地処分完了地区	64,554		64,554	100
２．新市街地造成整備事業	24,113	18	22,773	94.4
千葉北部地区	12,280	3	11,932	97.2
幕張A	2,310	12	1,780	77.1
幕張C	1,280	3	940	73.4
成田	2,936		2,930	99.8
検見川	2,608	0	2,537	97.3
東葛飾北部流山	55		36	65.5
東葛飾北部柏	102		76	74.5
土地処分完了地区	2,542		2,542	100
３．内陸工業用地造成整備事業	4,504	32	4,489	99.7
ひかり	204		195	95.6
関宿はやま	199	32	199	100
空港南部	240		234	97.5
土地処分完了地区	3,861		3,861	100
４．ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ用地造成整備事業	1,264		1,264	100
土地処分完了地区	1,264		1,264	100
５．小規模住宅用地造成整備事業	213		213	100
土地処分完了地区	213		213	100
６．物流用地造成整備事業	180		180	100
土地処分完了地区	180		180	100
合計	105,190	50	103,561	98.5

※中止地区を除く

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　入

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率(%)
	現年度分	繰越分	計		
１．土地分譲事業収益	6,638,237		6,638,237	6,655,540	100.3
営業収益	4,242,642		4,242,642	4,180,497	98.5
営業外収益	2,395,595		2,395,595	2,471,822	103.2
特別利益				3,221	
２．土地貸付事業収益	2,544,907		2,544,907	2,546,403	100.1
営業収益	2,528,366		2,528,366	2,529,855	100.1
営業外収益	16,541		16,541	16,548	100.0
合計	9,183,144		9,183,144	9,201,943	100.2

支　出

（単位：千円）

区分	予算額			執行額	執行率(%)
	現年度分	繰越分	計		
１．土地分譲事業費用	8,322,955		8,322,955	7,390,463	88.8
営業費用	7,985,449		7,985,449	7,052,959	88.3
営業外費用	168,047		168,047	168,046	100.0
特別損失	169,459		169,459	169,458	100.0
２．土地貸付事業費用	566,116		566,116	520,198	91.9
営業費用	566,116		566,116	520,198	91.9
３．予備費	50,000		50,000		
合計	8,939,071		8,939,071	7,910,661	88.5

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資　本　的　収　入	1,409,505	154,344	1,563,849	1,563,116	100.0
貸　付　金　収　入	1,310,000		1,310,000	1,310,000	100
関　連　収　入	99,505	154,344	253,849	253,116	99.7
合　　計	1,409,505	154,344	1,563,849	1,563,116	100.0

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執行率（%）
	現 年 度 分	繰 越 分	計		
資　本　的　支　出	8,052,380	387,908	8,440,288	8,436,650	100.0
固 定 資 産 取 得 費	50,047		50,047	50,044	100.0
投　　資	7,000,000		7,000,000	7,000,000	100
建　設　改　良　費	1,002,333	387,908	1,390,241	1,386,606	99.7
合　　計	8,052,380	387,908	8,440,288	8,436,650	100.0

（2） 損益計算書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	7,473,325	営業収益	6,697,282
土地分譲原価	2,143,979	土地分譲収益	4,033,709
一般管理費	4,537,359	土地貸付収益	2,529,855
減価償却費	113,972	その他営業収益	133,718
資産減耗費	182,403	営業外収益	2,484,919
その他営業費用	495,612	受取利息及び配当金	1,296,646
営業外費用	228,351	雑収益	1,188,273
雑支出	228,351	特別利益	3,221
特別損失	169,458	過年度損益修正益	0
その他特別損失	169,458	その他特別利益	3,221
当期純利益	1,314,288		
合計	9,185,422	合計	9,185,422

（３） 貸借対照表

（令和７年３月31日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	375,014,613	固定負債	1,718,499
有形固定資産	104,153,455	繰延割賦売却益	958
土地	100,737,365	リース債務	894
償却資産	6,164,012	引当金	821,722
減価償却累計額	△3,728,764	その他固定負債	894,925
建設仮勘定	980,842	流動負債	3,277,110
無形固定資産	102,771	リース債務	719
投資その他の資産	270,758,387	未払金	1,097,109
完成資産	45,042,705	引当金	83,696
土地分譲事業完成資産	45,042,705	その他流動負債	2,095,586
流動資産	104,556,984	繰延収益	9
現金及び預金	104,041,870	長期前受金	9
未収金	506,980	負債計	4,995,618
その他流動資産	8,134		
		資本金	221,221,875
		自己資本金	221,221,875
		剰余金	100,226,144
		利益剰余金	100,226,144
		評価差額	198,170,665
		その他有価証券評価差額	198,170,665
		資本計	519,618,684
合計	524,614,302	合計	524,614,302

４．病　院　事　業　会　計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況

１．事業の概況

本事業では，県民の健康保持に必要な医療を提供するため，高度・特殊な専門医療を取り扱う３病院（がんセンター・総合救急災害医療センター・こども病院），循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う循環器病センター及び地域の中核医療を行う佐原病院の県立５病院を設置・運営しているところです。

また，令和６年度に策定した「千葉県立病院経営強化プラン」に基づいて，現在，経営改善に取り組んでいるところです。

なお，各病院の事業概況は次のとおりです。

(1) がんセンター

千葉県におけるがん対策の中心的役割を担っている当センターでは，「私たちは，心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します」を基本理念に掲げ，がん治療のために県内全域から訪れる多くの県民に，質の高いがん医療を効率的に提供しています。

当センターは，都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けており，県内のがん診療連携拠点病院等に対する研修会の開催やがん診療連携協議会での情報共有等を行い，県内がん医療の均てん化に貢献しています。

また，千葉県で唯一のがんゲノム医療拠点病院として，推奨治療の検討を行う専門家会議（エキスパートパネル）を開催して 177 件の治療方針を決定し，がん治療の発展に努めました。

さらに，小児がん連携病院（類型 2：特定のがん種等についての診療を行う連携病院）の指定も受けていることから，地域に質の高い小児がん医療及び支援を提供しました。

患者総合支援センターでは，ワンストップによる患者支援を実現させるため，入退院支援，在宅療養支援，各種検査・手術説明，服薬指導を実施するとともに，がん患者から生活や就労に関する相談を受け，必要な支援に繋げました。さらに，地域医療機関への訪問活動等を通じ，連携強化に努めました。

9 月には，当センター，千葉県及び公益財団法人ちば県民保健予防財団の主催により，がん予防展を開催し，広く県民にがんの予防等に関する最新の情報を提供するとともに，各種がん相談を実施しました。

(2) 総合救急災害医療センター

当センターは，千葉県全域を対象に重症患者に対する救急救命処置及び高度専門的な医療を行う第三次救急医療施設，全県域を対象とする高度救命救急センター，また精神科救急情報センターとして，最新の医療設備により高度な医療技術を必要とする救急・精神患者に，迅速かつ適切な治療と看護を提供しています。

救急診療部では，千葉県全域を対象とする第三次救急医療施設として，24 時間体制で重症の心疾患，脳卒中，多発外傷等の患者に対して救急救命治療や高度専門的治療を行うとともに，高度救命救急センターとして広範囲熱傷，指肢切断，急性中毒等の特殊救急患者の治療を行いました。

精神診療部では，千葉県精神科救急医療システムの中核的医療施設として，急性期患者を 24 時間体制で受け入れ，短期集中治療による早期社会復帰を目指すとともに，デイホスピタルやアウトリーチ（訪問看護）を実施し，患者の在宅生活と社会復帰を多職種で支援しました。

当院内に設置された精神科救急情報センターでは，精神保健福祉相談員と当直医が県下で発生する精神科救急ケースの受診相談と受診先の調整，医療情報の提供等を行っています。

基幹災害拠点病院としては，災害医療に対応できるよう災害派遣医療チーム（ＤＭＡＴ）を養成し，現在７隊の編成が可能となっています。加えて，国が推進する災害派遣精神医療チーム（ＤＰＡＴ）事業の活動に積極的に参画し，現在５隊の編成が可能となっているとともに，広域災害に際して迅速に対応する先遣隊としての訓練を行っています。

また，新医師臨床研修をはじめとして，大学の薬学部，作業療法学科，救急救命士養成学校等，種々の学生実習や救急救命士の研修・実習を受け入れ，医療従事者の育成に努めました。

(3) こども病院

県内の小児医療の拠点として，一般の医療機関では対応が困難な難病や重症の患者，先天性心疾患をはじめとした重篤な外科的疾患の患者に対して，「児童の権利に関する条約」のもと，「その子らしく，その子のために」を基本理念に高度専門的な医療，総合的な医療を提供しています。

こども・家族支援センターでは，入院時から多職種とともに退院後の生活をふまえた退院支援・在宅支援を推進しています。地域連携については，地域の医療機関や訪問看護ステーション，学校等と連携し在宅療養環境を調整しました。６月に小児臨床症例研究会を開催し，地域医療連携講座を企画しました。加えて小児を受け入れる訪問看護師のためのセミナー（４回/年）では,小児看護の知識の向上とともに医療者間の交流の場を設け，連携を促進しました。千葉県医療的ケア児等支援センターの企画する研修会の講師として参加し，小児医療に関する情報の提供・発信を行いました。

児童虐待防止については，児童虐待防止医療ネットワーク事業の拠点病院として，地域医療機関や児童相談所，法医，検察，弁護士等との連携会議を５月・９月に開催しました。成人移行支援については，トランジション※１外来の運営や，千葉県移行期医療支援センターと連携して成人の医療施設への移行を目的とした事例検討を行い，院内各部署では，ヘルスリテラシーを獲得するための自立支援に向けて取り組んでいます。

医療安全対策では,日本医療機能評価機構の医療安全文化調査を継続し，医療安全文化の課題，組織文化の変化を共有し，医療安全の質の向上に努めています。また，６月・９月に多職種で Team STEPS 研修を実施し，医療安全におけるチームワークの重要性とノンテクニカルスキルの実践力をつけるための手法を学び，安全・安心で質の高い医療の提供のための取組を推進しました。強化項目としてダブルチェックの方法を統一して院内で定着する取組を実施しました。

また，関東圏内の日本小児総合医療施設協議会加盟施設と連携を図り，医療安全の質や小児医療の専門性を高める取組をしています。

経営面では，経営戦略部にて診断群分類（ＤＰＣ※２）分析を行うとともに，院内の体制を整備し新たな施設基準の加算を取得し収益の増加を図りました。

※１ トランジション：成人期医療への移行支援

※２ Diagnosis Procedure Combination:診断群分類

(4) 循環器病センター

当センターは，循環器系疾患に関する高度専門的医療として，急性心筋梗塞，狭心症に対する経皮的冠動脈形成術，心房細動などに対するカテーテルアブレーション治療，大動脈ステント治療，ガンマナイフ治療などを行うとともに，内科や外科等の地域医療・救急医療を行い，地域における 24 時間 365 日の救急基幹センターとしての役割を担っています。

また，当センターでは，院内の多職種で構成する「てんかんセンター」を設置し，内科治療や「難治性てんかん」に対する外科治療，社会復帰支援など包括的なてんかん医療に取り組んでいます。

本年度は昨年度に引き続き，てんかんの専門医療・専門相談を行うことのできる体制や診療ネットワークを整備することを目的とした，「てんかん支援拠点病院」の指定を県から受けており，6 月には医療関係者を対象に，てんかん臨床の基本に関する web 研修会を行いました。

災害拠点病院としては，災害医療に対応できるようＤＭＡＴを編成し，自然災害はもとより，人的災害等の緊急時に出動できる体制整備に努めています。

経営面では，診療報酬の算定実績やＤＰＣ分析を行うとともに，診療報酬の算定件数の増加，新たな施設基準の獲得に向けた検討を行い，収益の増加に努めています。

設備面では，開院から 20 年以上を経過している当センターの，施設の長寿命化及び病院機能の充実に向けた施設改修に取り組んでいます。

医療機器については，効果的かつ計画的な更新を行っています。6 月にはガンマナイフの更新を行い，新機種を導入しました。新機種では，分割照射により，大きな病変に対する副作用のリスクの低い治療が可能になりました。

(5) 佐原病院

当院は，高齢化が進展している香取地域において急性期医療を支える中核病院として，高齢者に多い肺炎，消化器系疾患，大腿骨骨折などへの対応のほか，罹患率の高い消化器がんなどの疾患に対応した医療の提供を行うとともに，人間ドックや健康診断などの予防医療にも取り組んでいます。

当院の特長として，幅広い疾患に対応できるよう外来診療や入院診療の体制を整備しています。外来診療では特に，超音波内視鏡の導入に伴う高度な医療の提供や，障害のある方及び児童への歯科治療を行うとともに，千葉大学医学部附属病院などと連携し各専門領域の外来診療を行っています。

また，在宅療養支援病院として，地域包括ケア病棟，訪問診療，24 時間 365 日体制の訪問看護ステーションが連携を取り，地域の住民が必要な医療や介護を受けながら自宅や施設で暮らし続けることができるようサポートしています。

そして，救急基幹センターとして引き続き 24 時間 365 日の救急外来を担うほか，災害時の医療救護活動の拠点となる災害拠点病院として重要な役割を担うとともに，ＤＭＡＴを編成するなど，緊急時に出動できる体制整備に努めています。

そのほか，令和 7 年 4 月より，麻酔科の常勤医師が新たに赴任し，院内の医療体制がさらに強化されました。これにより，緊急手術にも迅速に対応できるようになり，安心して治療を受けることができる環境が整いました。また，6 月には，地域住民を対象としたがん治療や骨に関する公開講座を開催しました。

（6） 患者数の状況（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）

施設名	区分	入院（人）	外来（人）	手術（件）	相談（外来・電話）（件）
がんセンター	延べ人数	57,943	71,383	2,872	
	一日平均	317	576	15.7	
総合救急災害医療センター	延べ人数	24,594	19,290	765 157	15,285
	一日平均	134	137	4.2 0.9	84
（うち救急診療部門）	延べ人数	15,770	5,424	765 157	
	一日平均	86	30	4.2 0.9	
（うち精神診療部門）	延べ人数	8,824	13,866		15,285
	一日平均	48	107		84
こども病院	延べ人数	23,967	39,397	912	
	一日平均	131	318	5.0	
循環器病センター	延べ人数	22,079	34,751	177 165	
	一日平均	121	280	1.0 0.9	
佐原病院	延べ人数	19,106	42,483	555	
	一日平均	104	343	3.0	
計	延べ人数	147,689	207,304	5,281 322	15,285
	一日平均	807	1,654	28.9 1.8	84

※手術欄の2段書きの下段は，経皮経管的冠状動脈形成術（ＰＴＣＡ）等で別掲

※表示単位未満四捨五入のため，積み上げが一致しない場合がある

（注） 入院の1日平均患者数は，上期の日数により計算し，外来の1日平均患者数は，休日を除く診療日数により計算した。

2．経理の状況

（1） 予算の執行状況（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　入

（単位：千円）

区　分	予算額			執行額	執行率
	現年度分	繰越分	計		
病院事業収益	62,538,395		62,538,395	34,793,050	55.6 %
医業収益	43,184,490		43,184,490	19,640,428	45.5
医業外収益	19,353,905		19,353,905	15,150,288	78.3
特別利益				2,334	

支　出

（単位：千円）

区　分	予算額			執行額	執行率
	現年度分	繰越分	計		
病院事業費用	66,456,435	20,188	66,476,623	26,057,559	39.2 %
医業費用	64,172,478	20,188	64,192,666	25,667,005	40.0
医業外費用	2,283,957		2,283,957	390,554	17.1

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資　本　的　収　入	9,116,399		9,116,399	5,173,635	56.8　%
企　　業　　債	1,360,000		1,360,000		
他会計長期借入金	2,500,000		2,500,000		
国　庫　補　助　金	82,764		82,764		
他　会　計　負　担　金	5,173,635		5,173,635	5,173,635	100.0

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資　本　的　支　出	11,482,449	55,661	11,538,110	3,265,494	28.3　%
建　設　改　良　費	1,649,349	55,661	1,705,010	565,383	33.2
企　業　債　償　還　金	9,833,100		9,833,100	2,700,111	27.5

（２） 損益計算書

（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	24,555,689	医業収益	19,607,586
給与費	13,483,205	入院収益	12,949,343
材料費	7,197,442	外来収益	6,361,758
経費	3,825,182	その他医業収益	296,485
資産減耗費	2,713	医業外収益	15,128,641
研究研修費	47,147	国庫補助金	43,295
医業外費用	384,449	負担金交付金	14,817,375
支払利息及び企業債取扱諸費	181,324	患者外給食収益	8,695
患者外給食材料費	7,946	研究受託収益	181,969
受託研究費	68,055	その他医業外収益	77,307
雑損失	127,124	特別利益	2,324
		過年度損益修正益	2,324
当期純利益	9,798,413		
合計	34,738,551	合計	34,738,551

（３） 貸借対照表

（令和７年９月 30 日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	71,238,993	固定負債	67,017,620
有形固定資産	64,775,290	企業債	51,410,389
土地	6,755,272	他会計借入金	6,400,000
償却資産	119,818,555	引当金	9,207,231
減価償却累計額	△62,003,079	流動負債	12,377,936
建設仮勘定	173,633	企業債	7,132,987
その他有形固定資産	30,909	未払金	3,339,916
無形固定資産	2,725,491	引当金	1,790,505
投資その他の資産	3,738,212	その他流動負債	114,528
流動資産	18,227,867	繰延収益	9,424,278
現金預金	8,299,129	長期前受金	37,986,273
未収金	7,763,757	長期前受金収益化累計額	△28,561,995
未収金貸倒引当金	△12,153	負債計	88,819,834
貯蔵品	810,515		
前払費用	63,171	資本金	12,616,892
前払金	65,506	自己資本金	12,616,892
その他流動資産	1,237,942	剰余金	△11,969,866
		資本剰余金	14,901,028
		利益剰余金	△26,870,894
		当年度未処理欠損金	△26,870,894
		資本計	647,026
合計	89,466,860	合計	89,466,860

Ⅱ　令和６年度の決算状況

１．事業の概況

本事業では，県民の健康保持に必要な医療を提供するため，高度・特殊な専門医療を取り扱う３病院（がんセンター・総合救急災害医療センター・こども病院），循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う循環器病センター及び地域の中核医療を行う佐原病院の県立５病院を設置しており，地方公営企業法全部適用の事業として千葉県病院局が管理・運営を行っています。

令和６年度は，「千葉県立病院改革プラン」（計画期間：令和３年度～令和６年度）の最終年度でした。医療安全と県民に安心で質の高い医療を提供することを重視しつつ，従来の改革プラン以上に，より経営を意識して，経営状況の把握と早期の経営改善に重点を置いた施策を講じました。

また，千葉県立病院群として初期臨床研修医 25 名，レジデント医 35 名を受け入れるなど，医師の確保・育成に努めました。

令和６年度の患者数の状況は，新入院患者が 22,136 人（延べ 295,745 人，一日平均 810 人），新外来患者が 30,607 人（延べ 418,572 人，一日平均 1,704 人）となり，前年度と比較して，新入院患者は 1,413 人増加（延べ 11,712 人増加，一日平均 34 人増加）し，新外来患者は 1,015 人減少（延べ 4,658 人減少，一日平均 19 人減少）となりました。

なお，各病院の事業概況は，次のとおりです。

(1) がんセンター

千葉県におけるがん対策の中心的役割を担っている当センターでは，「私たちは，心と体にやさしく希望の持てるがん医療を提供します」を基本理念に掲げ，がん治療のために県内全域から訪れる多くの県民に，質の高いがん医療を効率的に提供しています。

当センターは，都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けており，県内のがん診療連携拠点病院等に対する研修会の開催やがん診療連携協議会での情報共有等を行い，県内がん医療の均てん化に貢献しています。

当センターでは，10 月に６Ａ病棟の 42 床を開棟し，病床稼働数を 446 床とすることで，より多くの患者を受け入れることができる体制を整えました。

また，千葉県で唯一のがんゲノム医療拠点病院として，推奨治療の検討を行う専門家会議（エキスパートパネル）を開催し 296 件の治療方針を決定，がん治療の発展に努めました。

さらに，県民の皆さんに，がんの予防，早期診断，治療選択等を知ってもらうためのイベントとして，がん征圧月間の９月にがん予防展，10 月に「がんの予防，早期発見のために知っておきたいこと」をテーマとした県民公開セミナー，11 月に医療従事者向けの地域連携懇談会などを企画開催しました。

当期における患者数の状況は，新入院患者が 9,566 人（延べ 116,133 人，一日平均 318 人），新外来患者が 7,147 人（延べ 144,783 人，一日平均 596 人）で，前年度と比較して，新入院患者は 738 人増加（延べ 7,582 人増加，一日平均 21 人増加）し，新外来患者は 68 人増加（延べ 719 人減少，一日平均３人減少）となりました。

(2) 総合救急災害医療センター

当センターは，千葉県全域を対象に重症患者に対する救急救命処置及び高度専門的な医療を行う第三次救急医療施設，全県域を対象とする高度救命救急センター，また精神科救急情報センターとして，

最新の医療設備により高度な医療技術を必要とする救急・精神患者に，迅速かつ適切な治療と看護を提供しています。

救急診療部では，千葉県全域を対象とする第三次救急医療施設として，24 時間体制で重症の心疾患，脳卒中，多発外傷等の患者に対して救急救命治療や高度専門的治療を行うとともに，高度救命救急センターとして広範囲熱傷，指肢切断，急性中毒等の特殊救急患者の治療を行いました。

精神診療部では，千葉県精神科救急医療システムの中核的医療施設として，急性期患者を 24 時間体制で受け入れ，短期集中治療による早期社会復帰を目指すとともに，デイホスピタルやアウトリーチ（訪問看護）を実施し，患者の在宅生活と社会復帰を多職種で支援しました。

当院内に設置された精神科救急情報センターでは，精神保健福祉相談員と当直医が県下で発生する精神科救急ケースの受診相談と受診先の調整，医療情報の提供等を行っています。

基幹災害拠点病院としては，災害医療に対応できるよう災害派遣医療チーム（ＤＭＡＴ）を養成し，現在７隊の編成が可能となっています。加えて，国が推進する災害派遣精神医療チーム（ＤＰＡＴ）事業の活動に積極的に参画し，現在５隊の編成が可能となっているとともに，広域災害に際して迅速に対応する先遣隊としての訓練を行っています。

また，新医師臨床研修をはじめとして，大学の薬学部，作業療法学科，救急救命士養成学校等，種々の学生実習や救急救命士の研修・実習を受け入れ，医療従事者の育成に努めました。

当期における患者数の状況は，新入院患者が 3,072 人（延べ 49,067 人，一日平均 134 人），新外来患者が 1,075 人（延べ 37,248 人，救急一日平均 28 人，精神一日平均 106 人）で，前年度と比較して，新入院患者は 367 人増加（延べ 3,329 人増加，一日平均９人増加）し，新外来患者は５人減少（延べ 276 人増加，救急一日平均１人増加，精神一日平均増減なし）となりました。

(3) こども病院

県内の小児医療の拠点として，一般の医療機関では対応が困難な難病や重症の患者，先天性心疾患をはじめとした重篤な外科的疾患の患者に対して，「児童の権利に関する条約」のもと，「その子らしく，その子のために」を基本理念に高度専門的な医療，総合的な医療を提供しています。

こども・家族支援センターでは，入院時から多職種とともに退院後の生活をふまえた退院支援・在宅支援を推進しています。地域連携については，地域の医療機関や訪問看護ステーション，学校等と連携し在宅療養環境を調整しました。６月・10 月・２月に小児臨床症例研究会，11 月に県民公開講座，訪問看護ステーション公開講座を企画開催しました。加えて小児を受け入れる訪問看護師のためのセミナー（４回/年）では，小児看護の知識の向上とともに医療者間の交流の場を設け，連携を促進しました。小児等在宅医療連携拠点事業として千葉県看護協会や千葉県医療的ケア児等支援センターの企画する研修会の講師として参加し，小児医療に関する情報の提供・発信を行いました。

児童虐待防止については，児童虐待防止医療ネットワーク事業の拠点病院として，地域医療機関や児童相談所，法医，検察，弁護士等との連携会議を５月・９月・12 月・３月に開催しました。さらに，地域における児童虐待対応向上を目指し，県内の医療機関等を対象に研修会を 10 月・３月に開催しました。成人移行支援については，トランジション外来の運営や，千葉県移行期医療支援センターと連携して成人の医療施設への移行を目的とした事例検討を行い，各部署では，ヘルスリテラシーを獲得するための自立支援に向けて取り組んでいます。

千葉県予防接種センター事業として，医療従事者等を対象とした研修会を公益社団法人千葉県医師会との共催により，３月に開催しました。

医療安全対策では,日本医療機能評価機構の医療安全文化調査を継続し，医療安全文化の課題，組織文化の変化を共有し，医療安全の質の向上に努めています。また，６月・７月・12 月・１月に多職種で Team STEPS 研修を実施し，医療安全におけるチームワークの重要性とノンテクニカルスキルの実践力をつけるための手法を学び，安全・安心で質の高い医療の提供のための取組を推進しました。

また，関東圏内の日本小児総合医療施設協議会加盟施設と連携を図り，医療安全における相互チェックや情報交換を行い，医療安全の質や小児医療の専門性を高める取組をしています。

経営面では，経営戦略部にて診断群分類（ＤＰＣ※）分析を行うとともに，新たな施設基準の加算を取得しました。

当期における患者数の状況は，新入院患者が 3,947 人（延べ 45,591 人，一日平均 125 人），新外来患者が 5,628 人（延べ 79,268 人，一日平均 326 人）で，前年度と比較して，新入院患者は 82 人増加（延べ 1,233 減少，一日平均３人減少）し，新外来患者は 256 人減少（延べ 1,184 人減少，一日平均５人減少）となりました。　※ Diagnosis Procedure Combination:診断群分類

(4) 循環器病センター

当センターは，循環器系疾患に関する高度専門的な医療を行うとともに，内科や外科等の地域医療・救急医療を行い，地域の救急基幹センターとしての役割を担っています。

循環器系疾患に関する高度専門医療として，急性心筋梗塞，狭心症に対する経皮的冠動脈形成術，心房細動などに対するカテーテルアブレーション治療，大動脈ステント治療などを行うとともに，植え込み型デバイス治療において，不適切作動症例，デバイス感染など，植え込まれたリードを含めたデバイス抜去が必要となる患者に対する「リード抜去術」や，通常の経皮的バルーン血管形成術（ＰＯＢＡ）が困難な症例に対する「エキシマレーザ冠動脈形成術」・従来の外科手術よりも負担が少なくこれまで手術を受けることが困難な患者に対する「経皮的僧帽弁接合不全修復術」といった治療を行っています。

令和６年度は,整形外科の常勤医師が１名着任し,それに伴う医療機器の整備も行ったことで,整形外科の診療体制が強化されました。

当センターでは，院内の多職種で構成する「てんかんセンター」を設置し，内科治療や「難治性てんかん」に対する外科治療，社会復帰支援など包括的なてんかん医療に取り組んでおり，本年度は昨年度に引き続き，てんかんの専門医療を行うことのできる体制や診療ネットワークを整備することを目的とした,「てんかん支援拠点病院」の指定を県から受けました。令和４年 12 月より千葉県てんかん診療連携運営委員会を立ち上げ，県内の主要なてんかん専門医療施設と協働し，県のてんかん診療連携体制の構築に取り組んでいます。

当センターは，災害拠点病院として災害医療に対応するとともに，ＤＭＡＴを編成する等，自然災害はもとより，人的災害等の緊急時に出動できる体制整備に努めています。

当期における患者数の状況は，新入院患者が 3,128 人（延べ 44,015 人，一日平均 121 人），新外来患者が 5,469 人（延べ 72,786 人，一日平均 300 人）で，前年度と比較して，新入院患者は 148 人増加（延べ 1,782 人減少，一日平均４人減少）し，新外来患者は 294 人減少（延べ 3,674 人減少，一日平均 15 人減少）となりました。

(5) 佐原病院

当院は，高齢化が進展している香取地域において急性期医療を支える中核病院として，高齢者に多い肺炎，消化器系疾患，大腿骨骨折などへの対応のほか，罹患率の高い消化器がんなどの疾患に対応した医療の提供を行うとともに，人間ドックや健康診断などの予防医療にも取り組んでいます。

当院の特長として，幅広い疾患に対応できるよう外来診療や入院診療の体制を整備しています。超音波内視鏡の導入に伴う高度な医療の提供や，障害のある方及び児童への歯科治療，整形外科において手の外科，脊椎，肩・肘関節の治療を行うとともに，千葉大学医学部附属病院などと連携し各専門領域の外来診療を行っています。

また，在宅療養支援病院として住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう，地域包括ケア病棟，訪問診療・訪問看護と連携を取り，緊急時には在宅療養を行っている患者が直ちに入院できるような体制を整備し，急性期医療だけではなく在宅療養を担う地域の中核病院としての役割を果たしています。24 時間 365 日体制の訪問看護ステーションでは，地域の住民が必要な医療や介護を受けながら自宅や施設で暮らし続けることができるようサポートしています。

さらに，救急基幹センターとして引き続き 24 時間 365 日の救急外来を担うほか，災害時の医療救護活動の拠点となる災害拠点病院として重要な役割を担うとともに，ＤＭＡＴを編成するなど，緊急時に出動できる体制整備に努めています。

当期における患者数の状況は，新入院患者が 2,423 人（延べ 40,939 人，一日平均 112 人），新外来患者が 11,288 人（延べ 84,487 人，一日平均 348 人）で，前年度と比較して，新入院患者は 78 人増加（延べ 3,816 人増加，一日平均 11 人増加）し，新外来患者は 528 人減少（延べ 643 人増加，一日平均３人増加）となりました。

（６） 患者数の状況

施設名	区分	入院（人）	外来（人）	手術（件）	相談（外来・電話）（件）
がんセンター	延べ人数	116,133	144,783	5,544	
	一日平均	318	596	15.2	
総合救急災害医療センター	延べ人数	49,067	37,248	1,709 335	31,220
	一日平均	134	134	4.7 0.9	85.5
（うち救急診療部門）	延べ人数	32,479	10,243	1,709 335	
	一日平均	89	28	4.7 0.9	
（うち精神診療部門）	延べ人数	16,588	27,005		31,220
	一日平均	45	106		85.5
こども病院	延べ人数	45,591	79,268	1,695	
	一日平均	125	326	4.6	
循環器病センター	延べ人数	44,015	72,786	334 351	
	一日平均	121	300	0.9 1.0	
佐原病院	延べ人数	40,939	84,487	1,069	
	一日平均	112	348	2.9	
計	延べ人数	295,745	418,572	10,351 686	31,220
	一日平均	810	1,704	28.3 1.9	85.5

※手術欄の２段書きの下段は，経皮経管的冠状動脈形成術（ＰＴＣＡ）等で別掲
※表示単位未満四捨五入のため，積み上げが一致しない場合がある

（注） 入院の１日平均患者数は，年間の日数により計算し，外来の１日平均患者数は，休日を除く診療日数により計算した。

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰 越 分	計		
病院事業収益	57,352,281		57,352,281	55,818,122	97.3 %
医業収益	39,363,918		39,363,918	38,239,541	97.1
医業外収益	17,982,604		17,982,604	17,562,576	97.7
特別利益	5,759		5,759	16,005	277.9

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執 行 額	執 行 率
	現年度分	繰 越 分	計		
病院事業費用	63,993,189	3,651	63,996,840	61,579,797	96.2 %
医業費用	61,893,433	3,651	61,897,084	59,832,858	96.7
医業外費用	1,836,235		1,836,235	1,483,614	80.8
特別損失	263,521		263,521	263,325	99.9

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的収入	3,643,550	1,192,723	4,836,273	4,623,658	95.6 %
企業債	1,256,000	1,192,000	2,448,000	2,249,000	91.9
他会計負担金	2,358,748	723	2,359,471	2,358,748	99.9
国庫補助金	28,802		28,802	14,030	48.7
固定資産売却収入				1,880	

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的支出	5,676,133	1,271,051	6,947,184	6,667,943	96.0 %
建設改良費	1,472,559	1,271,051	2,743,610	2,464,371	89.8
企業債償還金	4,203,574		4,203,574	4,203,572	99.9

（2） 損益計算書

（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	57,556,611	医業収益	38,173,643
給与費	29,842,847	入院収益	25,047,554
材料費	14,294,372	外来収益	12,550,921
経費	8,310,151	その他医業収益	575,168
減価償却費	4,433,597	医業外収益	17,491,307
資産減耗費	71,209	国庫補助金	152,706
研究研修費	140,367	負担金交付金	14,059,378
長期前払消費税勘定償却	464,068	患者外給食収益	17,455
医業外費用	3,637,656	研究受託収益	571,794
支払利息及び企業債取扱諸費	375,628	長期前受金戻入	2,450,516
患者外給食材料費	15,491	その他医業外収益	239,458
受託研究費	348,410	特別利益	15,041
雑損失	2,898,127	固定資産売却益	7,920
特別損失	263,226	過年度損益修正益	7,120
過年度損益修正損	262,993	その他特別利益	1
その他特別損失	233		
		当期純損失	5,777,502
合計	61,457,493	合計	61,457,493

（３） 貸借対照表

（令和７年３月 31 日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	70,733,061	固定負債	67,017,620
有形固定資産	64,272,658	企業債	51,410,389
土地	6,755,272	他会計長期借入金	6,400,000
償却資産	119,331,877	引当金	9,207,231
減価償却累計額	△62,003,079	流動負債	18,506,498
建設仮勘定	157,679	企業債	9,833,098
その他有形固定資産	30,909	未払金	6,774,202
無形固定資産	2,722,191	引当金	1,790,506
投資その他資産	3,738,212	その他流動負債	108,692
流動資産	9,886,557	繰延収益	4,246,888
現金預金	2,210,044	長期前受金	32,808,883
未収金	6,892,704	長期前受金収益化累計額	△28,561,995
貯蔵品	783,061	負債計	89,771,006
前払費用	678		
前払金	70	資本金	12,616,892
		自己資本金	12,616,892
		剰余金	△21,768,280
		資本剰余金	14,901,027
		利益剰余金	△36,669,307
		当年度未処理欠損金	△36,669,307
		資本計	△9,151,388
合計	80,619,618	合計	80,619,618

５．流域下水道事業会計

Ⅰ　令和７年度上期の事業概況

１．事業の概況

流域下水道事業は，２以上の市町村から下水を受けて，終末処理場で集約して処理するもので，都道府県が管理する下水道です。

千葉県では，県民の生活環境の向上とともに公共用水域の広域的な水質保全という観点から，昭和 43 年度に印旛沼流域下水道，昭和 46 年度に手賀沼流域下水道，昭和 47 年度に江戸川左岸流域下水道にそれぞれ事業着手し，市街地の生活環境整備と公共用水域の水質保全に重要な役割を担っています。

また，江戸川左岸流域下水道では，令和３年３月に供用開始した江戸川第一終末処理場について，流入する汚水量の増加に対応するため，切れ目なく整備を進めていく必要があることから，水処理第２系列の整備を進めています。

本期における関連市町が運営する公共下水道からの流入水量は，１億 8,272 万 4,592 立方メートルです。

なお，各流域の業務状況は次のとおりです。

（令和７年４月１日から令和７年９月 30 日まで）

流　域　名	関連市町数	本期流入水量	日平均流入水量
印　旛　沼	13	75,838,715 ㎥	414,419 ㎥
手　賀　沼	7	37,807,427	206,598
江戸川左岸	8	69,078,450	377,478
計	20※1	182,724,592	998,495

※1　１市が全流域に，２市が印旛沼・手賀沼に，１市が印旛沼・江戸川左岸に，３市が手賀沼・江戸川左岸に関連するため，重複分を除く。

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和７年４月１日から令和７年９月30日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現 年 度 分	繰　越　分	計		
流域下水道事業収益	39,058,245	997,280	40,055,525	13,744,786	34.3 %
営　業　収　益	27,176,040	997,280	28,173,320	13,743,339	48.8
営 業 外 収 益	11,882,205		11,882,205	1,427	0.0
特　別　利　益				20	

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現 年 度 分	繰　越　分	計		
流域下水道事業費用	39,058,245	997,280	40,055,525	5,681,199	14.2 %
営　業　費　用	38,426,044	997,280	39,423,324	5,602,588	14.2
営 業 外 費 用	632,201		632,201	78,611	12.4

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的収入	15,817,902	5,877,996	21,695,898	1,825,482	8.4　%
国庫補助金	5,442,300	3,094,094	8,536,394		
企　業　債	4,136,200	1,319,500	5,455,700	87,800	1.6
建設費負担金	4,242,427	1,391,951	5,634,378	1,737,643	30.8
固定資産売却代金				39	
他会計補助金	1,996,975	451	1,997,426		

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的支出	17,109,669	5,877,996	22,987,665	2,144,986	9.3　%
建設改良費	13,721,620	5,877,996	19,599,616	1,520,361	7.8
資産購入費	214,781		214,781	592	0.3
企業債償還金	1,219,652		1,219,652	624,033	51.2
その他資本的支出	1,953,616		1,953,616		

（2） 損益計算書

（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	11,794,176	営業収益	7,472,540
管渠費	60,164	維持管理費負担金	7,466,364
ポンプ場費	74,780	その他営業収益	6,176
処理場費	4,816,808		
総係費	163,783	営業外収益	5,785,077
減価償却費	6,678,641	長期前受金戻入	5,783,738
		雑収益	1,339
営業外費用	78,588		
支払利息及び企業債取扱諸費	78,588	特別利益	18
		固定資産売却益	18
当期純利益	1,384,871		
合計	13,257,635	合計	13,257,635

（3） 貸借対照表

（令和7年9月30日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	364,773,270	固定負債	42,871,962
有形固定資産	356,710,275	企業債	42,871,962
土地	62,745,794		
償却資産	349,881,717	流動負債	16,863,014
減価償却累計額	△66,872,921	企業債	2,946,716
建設仮勘定	10,955,685	未払金	844,998
無形固定資産	39,532	前受金	5,479,045
投資その他の資産	8,023,463	その他流動負債	7,592,255
流動資産	22,336,095	繰延収益	251,287,003
現金預金	15,537,363	長期前受金	308,684,718
未収金	218,244	長期前受金収益化累計額	△57,297,715
前払費用	507,980		
前払金	1,609,740	負債計	311,121,979
その他流動資産	4,462,768		
		資本金	24,862,697
		剰余金	51,124,689
		資本剰余金	47,764,070
		利益剰余金	3,360,619
		資本計	75,987,386
合計	387,109,365	合計	387,109,365

Ⅱ　令和６年度の決算状況

１．事業の概況

令和 6 年度における流域下水道事業は，令和 2 年 3 月に策定した「千葉県流域下水道事業経営戦略」に基づく取組を実施し，「快適で良好な生活環境の創造」，「安全で安心なまちづくり」，「安定した経営基盤の確立」の３つを目標として事業を推進しました。

（１）　工事の状況

江戸川第一終末処理場の建設改良事業では，水処理第２系列土木躯体工事及び発電機棟の建築機械，建築電気，電気設備工事が完成し，引き続き令和９年度までに水処理第２系列の完成を目指すために，水処理第２系列最終沈殿池機械設備工事をはじめ，処理場内の整備等を実施しています。

また，「千葉県流域下水道ストックマネジメント計画」及び各流域「総合地震対策計画」に基づき，施設の改築・更新，地震対策工事等を実施しました。

（２）　業務の状況

令和 6 年度における関連市町が運営する公共下水道からの流入水量は 3 億 6,865 万 4,818 立方メートル，日平均流入水量は 101 万 14 立方メートルでした。

各流域の業務状況は次のとおりです。

流　域　名	関連市町数	年間流入水量	日平均流入水量
印　旛　沼	13 市町	151,741,404 m^3	415,730 m^3
手　賀　沼	7	76,652,834	210,008
江戸川左岸	8	140,260,580	384,276
計	20※1	368,654,818	1,010,014

※1　1 市が全流域に，2 市が印旛沼・手賀沼に，1 市が印旛沼・江戸川左岸に，3 市が手賀沼・江戸川左岸に関連するため，重複分を除く。

２．経理の状況

（１） 予算の執行状況（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

ア 収益的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現 年 度 分	繰　越　分	計		
流域下水道事業収益	36,004,936	469,118	36,474,054	34,370,782	94.2 %
営　業　収　益	24,146,124	469,118	24,615,242	22,471,917	91.3
営 業 外 収 益	11,801,924		11,801,924	11,810,936	100.1
特　別　利　益	56,888		56,888	87,929	154.6

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現 年 度 分	繰　越　分	計		
流域下水道事業費用	36,004,936	469,118	36,474,054	34,102,886	93.5 %
営　業　費　用	35,427,950	469,118	35,897,068	33,521,109	93.4
営 業 外 費 用	576,986		576,986	476,359	82.6
特　別　損　失				105,418	

イ　資本的収入及び支出

収　　入

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的収入	11,920,417	5,705,958	17,626,375	10,595,689	60.1　%
国庫補助金	3,949,900	3,324,685	7,274,585	4,486,690	61.7
企　業　債	2,889,100	1,185,000	4,074,100	2,153,400	52.9
建設費負担金	2,946,899	1,190,637	4,137,536	1,821,081	44.0
他会計補助金	2,134,518	5,636	2,140,154	2,134,518	99.7

支　　出

（単位：千円）

区　　分	予　　算　　額			執　行　額	執　行　率
	現年度分	繰　越　分	計		
資本的支出	13,185,071	5,705,958	18,891,029	11,962,119	63.3　%
建設改良費	9,779,491	5,687,885	15,467,376	8,557,015	55.3
資産購入費	64,346	18,073	82,419	63,872	77.5
企業債償還金	1,381,505		1,381,505	1,381,503	100.0
その他資本的支出	1,959,729		1,959,729	1,959,729	100.0

（2）損益計算書

（令和６年４月１日から令和７年３月31日まで）

（単位：千円）

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
営業費用	31,736,339	営業収益	20,429,015
管渠費	263,159	維持管理費負担金	20,301,364
ポンプ場費	217,269	その他営業収益	127,651
処理場費	17,423,748		
総係費	507,988	営業外収益	11,810,594
減価償却費	13,172,946	受取利息及び配当金	42,234
資産減耗費	151,229	他会計補助金	239,187
		長期前受金戻入	11,520,053
		雑収益	9,120
営業外費用	321,914		
支払利息及び企業債取扱諸費	316,336	特別利益	87,929
雑支出	5,578	その他特別利益	87,929
特別損失	105,418		
その他特別損失	105,418		
当期純利益	163,867		
合計	32,327,538	合計	32,327,538

（3）貸借対照表

（令和7年3月31日現在）

（単位：千円）

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	363,377,867	固定負債	42,784,163
有形固定資産	355,314,872	企業債	42,784,163
土地	62,745,794		
償却資産	349,881,215	流動負債	14,057,343
減価償却累計額	△66,872,921	企業債	3,570,748
建設仮勘定	9,560,784	未払金	5,341,314
無形固定資産	39,532	前受金	3,899,370
投資その他の資産	8,023,463	引当金	72,680
		その他流動負債	1,173,231
流動資産	18,558,255		
現金預金	12,946,669	繰延収益	251,387,003
未収金	2,047,002	長期前受金	308,684,718
前払費用	173,020	長期前受金収益化累計額	△57,297,715
前払金	1,040,464		
その他流動資産	2,351,100	負債計	308,228,509
		資本金	24,862,697
		剰余金	48,844,916
		資本剰余金	47,764,070
		利益剰余金	1,080,846
		資本計	73,707,613
合計	381,936,122	合計	381,936,122